

I. 事業活動の総括（平成17.4～平成18.3）

1. 新たな成長期を歩み出した日本経済

日本経済は、1990年以来15年の長いバブル崩壊後の混迷期から脱出し、明るい日差しがさし始めてきた。この間、産業界は懸命な自己革新で大転換を遂げた。

財務省の法人企業統計調査によると、第1に企業の財務収益構造の改善で損益分岐点が全産業で80%、製造業は73%と低下し、大幅な増益を稼ぎ出す高収益体質に生れ変わった。

第2には、国際収支構造の転換でアジア依存度が70%を超えた。直接投資は、アジア向けが35%を超え最大の投資先となった。中国一辺倒も急速に是正され、海外リスクに強い国際分散体制が出来上がりつつある。今後、リスクが顕在化するたびに日本経済の強さが一段と高揚すると考えられる。

一方、経済から企業に眼を転ずると、大企業においてリストラ効果による急速な景気回復が見られ、期末には、史上最高の増収収益が多出した。この波が中小企業にも影響し、産業全体として景気の踊り場から脱出し始めた。

本年度、当地では「愛・地球博」万国博覧会が平成17年3月25日から6カ月に渡り開催された。入場者数は目標を大幅に上回り、最終的に129億円の黒字で終幕した。万博の大成功による波及効果は、経済的效果に止まらず、地球環境マインドの高揚と人心の高揚をもたらし、消費動向をも変えた。

総じて、平成17年度は日本経済の強さが一段と輝き、本格的な新し

い成長時代を迎えた分岐点の年となった。このような背景の中で、中産連は広く産業界、会員企業の解決すべき課題やニーズを適確に捉え、売上拡大策、新しいマネジメント・システムの導入、組織改革、企業再生、人材育成、コスト・ダウンや効率化をめざした現場改善、そして企業の国際化対応を強力に支援するコンサルテーション、公開講座、講演会、研究会、国際標準化の推進支援、国際化研修支援、海外視察団派遣など多様な普及活動を行なった。

平成17年度の収入は、対予算で3.7%増、この内事業収入は2,600百万円で6.3%増と好調な決算をすることができた。当連盟は、平成17年度において以下の諸事業を実施した。

2. 平成17年度 事業活動実績の要約

本年度（平成17年4月1日～平成18年3月31日）において次の諸事業、プロジェクトの普及活動を実施

1. 国内コンサルティング事業活動

- (1) 本部（名古屋）341社、東京本部131社、長野コンサルティング事業部9社に対してコンサルテーション、研修を実施
- (2) 53の専門機関より要請を受け、コンサルティング、教育訓練を実施

受 注 先	本部	東京	長野	総 計 (社)
一般会員企業ならびに非会員企業	341	131	9	481
専門機関、公共機関からの要請 (診断・コンサルテーション・調査)	53			

(研究第一部)

重点開発コンサルティングテーマ

(1) 事業再活性支援コンサルティング

経営・財務コンサルタントと生産コンサルタントが一体となり経営財務・現場モノ作りの両面から、事業再生支援を推進。今期6社のコンサルティングを開始し、3社の黒字化を実現

(2) トヨタ生産方式支援コンサルティング

トヨタ系一次、二次企業への生産革新コンサルティングをはじめとして、自動車関連部品メーカー、家電関連部品メーカー等、幅広い業界にトヨタ生産方式のコンサルティングを展開

(研究第二部)

「戦略マネジメントプログラム」を中心に「営業のVM化プログラム」「営業力開発プログラム」を実施

・戦略マネジメント構築プログラム	3件
・営業VMプログラム	1件
・営業力開発プログラム	1件
・企業内研修	4件

(1) 「戦略マネジメント構築プログラム」

- ・戦略経営計画 企業戦略、部門戦略の立案
- ・事業開発計画 製品市場計画、事業評価、ビジネスプラン立案
- ・新ビジネスモデル研究
顧客リレーションシップ・マネジメント、企業
同盟の事例研究

・ビジネスシュミレーション

事業戦略、業績評価

・組織行動

起業家精神、役割認識、リーダーシップ、エン
パワーメント

(2) 「営業VMプログラム」

・戦略市場計画のVM化

市場構造、顧客分析、競合分析、戦略市場計画

・営業プロセスのVM化

営業部門の革新、情報の共有化、営業の生産性アップ

(3) 「営業力開発プログラム」

・顧客分析

購買プロセス、購買行動の研究

・戦略シナリオ立案

顧客攻略プロセス革新の研究

・提案型営業力

アプローチ、情報収集計画、クロージング訓練

(研究第三部)

・コンサルティング	14件
・企業内研修	1件

(1) 「あらゆる業種に活かすトヨタ方式」実践プログラムの開発と普及

- ・「トヨタ方式導入・実践」のためのステップと評価基準をまとめ、
ツールを開発し推進。また4種類のパッケージ・プログラムを開発

(2) 「順序化・流れ化・見える化」による業務革新

- ・従来改革、改善の対象になりにくかった、個別受注形態の製造現場、
物流現場、設計・生産準備部門、間接部門、本社管理部門、さらには
サービス業を対象とし紹介セミナーならびに個別企業へのコンサル
ティング実施

(3) かんばん方式デモ・システム

- ・かんばん方式のデモ用のシステムを開発し、提供を開始

(生産革新事業部)

生産革新事業部は、「モノ作り現場から利益を出す」「到達すべき品質、コスト、リードタイムの実現」「基本に戻って現場の足腰を強める」を基本に、トヨタ生産方式をはじめとした改善手法をベースに、具体的・実践的な現場改善を中心としたモノ作り改革支援を推進した。

・コンサルティング	43件
・企業内研修	26件

(1) 主なコンサルティングテーマ

- ・事業再活性化支援コンサルティング（人事・組織革新事業部との協同）
- ・トヨタ生産方式導入コンサルティング
- ・トヨタ生産方式とTQMをベースとする「儲かる工場作り」 など

(2) (研修) 工場改善を主としたテーマ

- ・トヨタ生産方式実践導入研修
- ・小集団活動の活性化
- ・基礎から始める品質管理
- ・基礎から始めるIE など

(人事・組織革新事業部)

企業内コンサルティングおよび企業内研修などを中心に事業を展開、とくに人事制度改革に関連した幅広いコンサルティングテーマを中心に実施

・コンサルティング	22件
・企業内研修	67件

(1) コンサルティングテーマ

- ・新人事制度導入～適正評価と効果的賃金制度の構築～
- ・事業再生「経営基盤の刷新による収益体質の定着への改革」

また、「商品開発」機能の具体的活動として、下記の研究開発プロジェクトをコンサルタントと協同で研究開発を推進した。

(2) 研究開発テーマ

- ・「生産革新活動に貢献する人づくり」プロジェクト
- ・「情報サービス業、人材派遣業向け人事マネジメントシステム開発」プロジェクト
- ・「事業再生のコンサルテーション」プロジェクト
- ・「新規事業、新市場開発支援調査」プロジェクト

2. 研究開発事業活動

(1) 職員の発表論文と受賞状況

1) 第57回 全国能率大会

第Ⅰ部 平成17年7月12日・第Ⅱ部 平成17年9月1日（於：東京都）が開かれ、当連盟職員の研究論文が受賞

①経済産業省経済産業政策局長賞（第56回大会発表論文）

- ・リスクマッピングによるリスクマネジメントシステムの実践

コンサルタント 吉田 薫

②優秀論文（第57回大会発表論文）

- ・多品種少量見込生産における生産管理改善の実践的調査分析プロセス

コンサルタント 丸田 大祐

- ・今急がれる効率的な技術・技能の伝承
一品個別生産品を中心とした方法論と事例

コンサルタント 山口 郁睦

2) 日本経営診断学会で発表

(論文集「経営診断学の基礎理論と未来展望」〔平成17年10月〕に掲載)

「営業業務への品質管理の導入」

主任コンサルタント 山崎 康夫

3) 第5回日独PIUS会議（平成17年5月）において発表

「日本におけるPIUSチェックの導入」

主任コンサルタント 梶川 達也

(2) 平成17年度 全日本能率連盟 顕彰者

顕彰牌 中島 俊宏

表彰牌 三上 薫 木村 好裕

(3) 中産連マネジメント大会

当連盟所属コンサルタントが、日頃の活動をとおして研究・開発したマネジメント・ノウハウをとりまとめ、名古屋・東京で披露

1) 第18回マネジメント大会開催（名古屋）

開催日：平成17年11月24日(木)

テーマ：グローバル時代、国内製造業の再活性化への道

参加人数：457名（第1部会 320名 第2部会 137名）

会 場：ヒルトン名古屋

2) 第12回東京マネジメント大会開催

開 催 日：平成17年11月16日(水)

テ ー マ：革新的マネジメント手法と推進成功事例

参加人数：228名（管理・間接部会115名、生産部会113名）

会 場：アルカディア市ヶ谷

3. 「日本経営管理標準（JMS）」推進事業活動

(JMS事業部)

(1) コンサルテーション・企業内研修・公開セミナー

・コンサルティング	60件
・企業内研修	35件
・公開セミナー	5コース

(2) 「日本経営管理標準（JMS）推進機構」活動

- ・企画委員会（3回）
- ・経営者特別講演会（2回）

第1回経営者特別講演会

「2006年を見据えた“モノづくりは人づくり”を考える」

参加者 200名

開催日 平成17年11月28日

開催場所 栄ガスビル

講 師 「調達の経験からみた人づくりの考察」

トヨタ自動車株 専務取締役 若山 甫氏

「人づくりとJMS」

(社)中部産業連盟 専務理事 竹内 弘之

第2回経営者特別講演会

「JMSを生んだ“中部のモノづくりの強さ”の考察」

参加者 90名

開催日 平成18年2月9日

開催場所 メルパルク名古屋

講師 「業態転換の変遷とイビデン流MOT」

イビデン株 取締役社長 岩田 義文氏

「中部のモノづくり その強さと特色

～産業観光の視点からみた考察～

東海旅客鉄道株 相談役 須田 寛氏

(3) 「経営後継者養成アカデミー (JEA)」(研修修了生239名)

第38期JEAは、10名の研修生を迎え実施、JEA出身者のうち100名

以上が経営を引き継ぎ活躍

(4) 「環境パートナーシップ・CLUB (略称：EPOC)」

会長 池淵 浩介氏 (トヨタ自動車株 相談役・技監)

会員数 314社 (平成18年3月末日現在)

総合事務局を担当

(5) ノートルダム大学共同企画第9回「エグゼクティブ短期特別プログラム」

参加者：7社8名

開催期間：平成17年6月10日～30日

4. 国際協力事業活動

(国際協力研修部)

(1) 全面委託集団研修コースの実施

中産連は、発展途上国からの研修員を日本に受け入れて実施する教育訓練について、コースの企画から実施全般を全面的に受託

コース名	主催	対象国	研修員数	期間	日数
全社品質・生産性向上研修コース	JICA	メキシコ	16	平成17年5月10日～10月14日	5ヶ月
工業分野における経営コンサルティング	JICA	ベネズエラ	4	平成17年6月6日～7月15日	1.5ヶ月
全産業界のレベルアップ	JICA	チュニジア	10	平成17年8月22日～9月23日	1ヶ月
生産性向上研修コース	JICA	モルドバ	10	平成17年11月7日～12月9日	1ヶ月
中小企業経営・品質管理コース	JICA	ルーマニア	8	平成18年1月23日～3月3日	1.5ヶ月

(2) 経営管理研修コースへの講師派遣

コース名	主催	対象国	研修員数	期間	日数
改善活動実践研修コース (THIA)	AOTS	タイ	23	平成17年10月5日～10月18日	2週間
改善活動実践研修コース (VNIA)	AOTS	ベトナム	23	平成18年2月15日～2月28日	2週間

- [注] 1) JICA：独立行政法人 国際協力機構
2) AOTS：財団法人 海外技術者研修協会

(3) その他一般講師派遣、海外での国際協力事業

区 分	件 数	関 係 国	主 催
国内で実施の海外研修生を対象としたコースへの講師派遣	14	中国ほか	AOTSほか
海外で実施する国際協力事業の受託・実施	1	南アフリカ	AOTS
海外で実施する国際協力事業へ講師派遣	4	タイ(2)、ベトナム、マレーシア	AOTS
他機関が企画した海外への調査、視察団参加	1	タイ	J-VAC

5. 首都圏におけるコンサルティング・研修事業活動

(東京本部)

(1) コンサルティング事業

VM（目で見える経営）活動の推進による企業体質の改革、フレキシブル生産システム（FMS）の確立による生産革新、生産現場改善によるコストダウン、5S活動の推進、在庫削減とリードタイム短縮の推進、組織改革、管理会計制度の導入、業績評価制度の導入、管理・間接業務の効率化、間接部門のVMの推進、目標管理制度の導入、人事制度の革新と組織の活性化の推進、賃金制度・退職金制度の改革、マーケティング戦略の構築と展開、ISO9000と14001認証取得のための品質保証体制の確立などコンサルティング実施

コンサルティング 140プロジェクト

(2) マネジメント研修事業

1) MSC会（経営戦略同好会）の活動

例 会 (19社)	12回	延べ 120名
-----------	-----	---------

2)

公開セミナー	57コース
--------	-------

3) 企業内研修事業

CAP（中産連アセスメントプログラム）による経営者、管理者、監督者の階層別企業内教育研修、目標管理制度導入のための管理者研修、行動改革・意識改革のための管理者研修、生産管理・人事管理などの各分野の機能別教育研修、ISO9000及び14001認証取得のための内部品質監査員養成研修など数多くの企業内研修を実施

4) 中産連VM賞（Visual Management＝目で見える経営）の授与

VM活動を推進して企業体質の革新を図られた矢崎部品株式会社自動車機器生産技術室の部品生産技術統括部と金型統括部に対して平成17年10月27日に「中産連VM部門賞」を授与して表彰

6. 長野・信越圏におけるコンサルティング・研修事業活動

（長野コンサルティング事業部）

(1) コンサルテーション・企業内研修・公開セミナー

生産効率化、TPS指導、生産管理システム構築、PASPAS研修、A-KOMIK研修、TMB研修、VN研修、見極め人・攻め方人養成などを実施

コンサルテーション	企業内研修	公開セミナー
7件	7件	10件

7. 国際標準規格ISO関係事業活動

(ISO事業部)

ISO9001/14001、TS16949、OHSAS18001、ISMS、プライバシーマーク、ISO22000、ISO13485（国際/国内標準規格）関係活動事業

(1) 事業活動の総括

1) ISO9001/14001、ISMS、Pマークなど認証取得支援のためのコンサルティング機関ならびに教育機関として、連盟所属コンサルタントのうち、約80名が主任審査員、審査員ならびに審査員補（JRCA、CEAR、JIPDEC認定）の資格を有し、わが国屈指の機関

2) ISO9001および14001の審査員研修機関（財日本適合性認定協会《JAB》から認定）、ISMSの審査員研修機関（財日本情報処理開発協会《JIPDEC》から認定）として審査員研修を拡大し実施、ISO9001、ISO14001及びISMSの3つのコースが認定されている中部地区では、唯一の機関

(2) 実績概要

1) ISO9001関連

①

 コンサルティング 118件

② 企業内訓練

内部品質監査員、規格解釈、導入研修、トップ研修、TS16949
研修 など

③	公開研修	184回 (参加者1,690名)
---	------	------------------

2) ISO14001 (環境)

①コンサルティング (93件)

②企業内訓練

環境マニュアル、内部環境監査員、規格解釈、導入研修、環境影
響評価、トップ研修、環境法規、LCA ほか

③	公開研修	147回 (参加者1,552名)
---	------	------------------

④第8回欧州環境視察団

日 程：平成17年7月3日～11日 (9日間)

訪問国：ドイツ、チェコ、ポーランド、オーストリア

参加者：13社17名参加、事務局を含め総勢20名

⑤第5回日独PIUS会議 後援 (主催 ドイツNRW州)

日 時：平成17年9月30日

場 所：名古屋国際会議場

参加者：70名

講演者：NRW環境省 シュトルパー氏ほか

	ISO9001	ISO14001	OHSAS18001	ISMS& ISO27001
コンサルテーション (企業内研修)	118	93	3	82
公開研修 (審査員養成 コース含)	184	147	8	27

8. 「トヨタ生産方式研究会」事業活動

・特別講演「トヨタ生産方式の本質と進化」

講師 トヨタ自動車(株) 技監 林 南八氏

内 容 と 講 師	春	季	秋	季
	期 間	参加者	期 間	参加者
PART I (改善の進め方) 春季・秋季 講師：トヨタ自動車(株) 生産調査部 部長 三浦 憲二氏 ほか6名	平成17年 5月18日～ 20日	300名	平成17年 9月28日～ 30日	300名
PART II (作業改善の研修) 春季 講師：トヨタ自動車(株) 生産調査部 部長 三浦 憲二氏 同部主査 伊原木 秀松氏、村本 範貴氏 アイシン精機(株)、(株)東海理化 トヨタ紡織(株)、豊田合成(株) 秋季 講師：トヨタ自動車(株) 生産調査部 部長 三浦 憲二氏 同部主査 伊原木 秀松氏、村本 範貴氏 アイシン精機(株)、(株)デンソー トヨタ紡織(株)、豊田合成(株)	平成17年 6月12日～ 17日	48名	平成17年 10月23日～ 28日	48名

9. 会員事業活動

(会員事業部)

(1) マネジメント研修部

創造性豊かな人材の育成をねらいに、中産連“創造の船”(第21回)を実施、また、会員企業を中心に産業界全体に対し、時代の要請に応え得る人材を育成する公開研修事業や技術革新、グローバル化に対応した長期研究会、海外視察団の編成、様々な課題や要望に合わせた企業内研修、コンサルティング事業を展開

1) 公開研修

分野	プロジェクト数	社数	参加者
公開研修	238	2,853	5,100
研究会	3	53	62
フォーラム	4	164	274
海外研修	1	13	18
海外受託研修	3	50	57
海外洋上研修	1	90	190
企業内研修	148	114	/
コンサルテーション	36	31	
合計	434	3,368社	5,701名

2) 中国プロジェクト

中産連北京事務所による、中国日系企業及び中国民営企業に対する経営管理革新支援、人材育成支援、情報サービス活動を実施

3) 受託事業

①(社)日本バリュー・エンジニアリング協会 中部支部

VE研修、建設VE研修会、原価とVE研究会、中部VE大会、ほかの実施

②日本設備管理学会 本部

総会・シンポジウム、大会の実施

③日本設備管理学会 東海支部

総会・シンポジウムの実施

(2) 会員サービス部

1) プロGRESS (中産連機関誌・月刊マネジメント専門誌) の発行

2) 会員懇話会 (無料講演会)

タイムリーで話題性の高いテーマを毎回とりあげ実施

3) 経営法務相談室 (無料)

経営全般に関する無料相談室と企業法務に焦点を当てた経営・法務の無料相談室にはこれまでそれぞれの時代を反映した相談が寄せられており、今期も経営課題・問題解決の窓口を開設

4) 中産連ビデオサービス

会員企業向けのメンバー登録制によるビデオギャラリーを開設

5) 受託事務局

①日本経営近代化協会 (SAM) 名古屋支部

②日本広報学会 中部部会

6) 中産連ホームページ

当連盟団体概要の紹介、会員企業へのリンクサービスのほか、WEB上からのセミナー申込み、コンサルテーションの問い合わせ等の情報提供

7) 中産連人材育成フォーラム

平成18年度研修事業計画を説明

8) マネジメント小冊子 (無料) の発行

- ・「平成17年度中産連会員懇話会抄録集」
- ・「潮流X」

10. 業務報告

(1) 会 勢

平成18年3月末日現在の会員数は827社（入会38社、退会35社）

(2) 会 議

1) 総 会

平成17年度通常総会

と き 平成17年6月15日(水) 14時～15時05分

と ころ 名古屋国際ホテル（2階 老松の間）

出席会員 596会員

議 件 i 議決事項

(1) 平成16年度事業報告および収支決算書類承認
の件

(2) 平成17年度事業計画および収支予算審議決定
の件

(3) 平成17年度理事選任（交替）の件

(4) 平成17年度評議員選任（交替）の件

ii 報告事項

2) 理事会

第246回理事会

と き 平成17年5月19日(木) 12時50分～13時55分

と ころ 名古屋観光ホテル（2階 曙の間）

出席者 理事49名、監事1名

議 件 i 議決事項

- (1) 平成17年度通常総会開催日時および場所決定の件
- (2) 上記総会に提出すべき下記議件審議の件
 - 1) 平成16年度事業報告および収支決算案に関する件
 - 2) 平成17年度理事選任（交替）に関する件
 - 3) 平成17年度評議員選任（交替）に関する件
- (3) 平成17年度相談役推薦に関する件
- (4) 平成16年度下半期新規入会会員の承認を求める件

ii 報告事項

第247回理事会

と き 平成17年11月21日(月) 13時～13時50分

と ころ ウェスティンナゴヤキャッスル (3階 松竹の間)

出 席 者 理事48名、監事1名

議 件 i 承認事項

- (1) 平成17年度上半期新規入会会員の承認を求める件

ii 報告事項

- (1) 平成17年度上半期実施事業ならびに収支概況報告の件

第248回理事会

と き 平成18年3月22日(水) 13時～13時55分

と ころ 名古屋観光ホテル (3階 楠の間)

出 席 者 理事48名、監事1名

議 件 i 議決事項

(1) 平成18年度事業計画および収支予算案の件

ii 報告事項

(3) 職員の状況

平成18年3月末日現在の正職員は男子85名、女子31名の合計116名

11. 協力活動

(1) 外郭団体・研究会等に対する協力

- ・ JEA経営研究クラブ (JEC)
- ・ 経営企画士会 (社)全日本能率連盟登録)
- ・ (社)日本バリュー・エンジニアリング協会 中部支部
- ・ 日本設備管理学会 本部・東海支部
- ・ 日本経営近代化協会 (SAM) 名古屋支部
- ・ 日本広報学会 中部部会

(2) 関連法人

- ・ 中産連ビルディング(株)
- ・ (株)リーム中産連

(3) 専門団体連絡協議会

マネジメントの分野で全国的に活動を行なっている16の公益法人（機関）で組織している専門団体連絡協議会（略称・専団連）のうち、15団体までが東京に本部をおいているが、当連盟は東京以外に本部を持つ唯一の全国的マネジメント専門団体として、この協議会の中核的メンバーとなっている。